

九州防衛局が「芦屋基地航空祭2022」で広報活動

《概要》

9月4日（日）、航空自衛隊芦屋基地で3年ぶりに「芦屋基地航空祭2022」開催され、約2万人の来場者でにぎわう中、九州防衛局は会場内にブースを設置し、広報活動を行いました。

ブースでは、令和4年版防衛白書のパネル展示、九州防衛局の広報誌「きゅうしゅう」をはじめとする防衛省各種パンフレットの配布、防衛白書クイズなどを行いました。

特に、防衛白書クイズのコーナーでは、正解するとブルーインパルスなどの装備品がプリントされた缶バッジがもらえるとあって、多くの家族連れや子供達で賑わいました。

また、ブルーインパルスの華麗な展示飛行が披露される中、ブルーインパルスのタペストリーとパイロットの全身をかたどった顔出しパネルの前では、老若男女を問わず多くの方々に写真撮影を楽しんでいただきました。

新型コロナウイルスの影響により昨年、一昨年多くの自衛隊行事が中止となったことから、九州防衛局の広報活動も3年ぶりの実施でしたが、多くの方に訪れていただき、ブースは大盛況となりました。

九州防衛局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々にご理解いただけるよう、今後とも様々な機会をとらえ広報を実施していきます。自衛隊の各種イベントにおける当局の広報ブースにて皆様をお待ちしております。



▲暑い中でしたが、多くの来場者でブースは賑わいました



▲ブルーインパルスの特ペストリー・顔出しパネルで記念撮影



▲防衛白書クイズに全問正解で缶バッチをプレゼント



▲地元のゆるキャラ「おんがっぴー」も記念撮影してくれました